

4年生 説明文：「アップとルーズで伝える」

本単元では、「筆者の考えをとらえ、自分の考えを発表すること」を目標に学習を進めました。筆者の考えに対する自分の考えを形成するためには、筆者の主張である「伝えたいことに合わせてアップとルーズを使い分ける」という内容を、子どもたち自身が実際に試してみることが必要であると考えました。そこで、「休み時間の楽しみ方をお家の人に伝えるポスターを作ろう」という言語活動を設定し、単元計画を立てました。

単元の導入では、ゴールとなる成果物の見本を提示しました。活動の見通しをもたせることで、「説明文を読んで、伝え方の工夫を学びたい」という必要感をもって学習に取り組むことができました。

まず、筆者の考えをとらえました。次に、筆者が考えを伝えるために、どのような「アップ」と「ルーズ」の例を示しているのかについて読み取りました。ここでは、「どうしてテレビの例だけではなく、新聞の例も提示しているのだろう」と問いかけることで、筆者が複数の事例を用いて主張に説得力をもたせていることに気付けるようにしました。さらに、「アップ」と「ルーズ」の特徴について整理しました。アップは細かな様子を詳しく伝えられる一方で周りの様子が分かりにくいこと、ルーズは全体の様子を伝えられる一方で細かな部分は見えにくいことをまとめました。児童は、それぞれの特徴を比較することで、「何を伝えたいのかによって適した撮り方が異なる」という筆者の主張への理解を深めました。ここまでが、説明文を読む学習です。児童は、内容だけでなく、筆者の伝え方の工夫にも着目しながら学習を進めることができました。

その後、学習したことを実際に活用する活動へとつなげました。まず、「休み時間の楽しみ方」の中で、自分が何を伝えたいのかを明確にしました。例えば、「サッカーをしていることを伝えたい」だけでは内容が広く、アップとルーズのどちらを使えばよいのかがはっきりしません。そこで、「サッカーの何を伝えたいの？」と問い返すことで、「ボールをける瞬間」「みんな協力している様子」など、伝えたいことを具体化できるようにしました。その後、実際に撮影活動を行いました。「アップでは表情は分かるが何をしているのかが分かりにくい」



「ルーズでは全体は分かるが伝えたい部分が小さくなる」など、児童は写真の特徴を実感しながら学習を進めました。読む活動だけでは筆者の主張を十分にとらえきれなかった児童も、実際に活動することで、「伝えたいことに合わせてアップとルーズを使い分ける」という意味を具体的に理解できるようになりました。

さらに、完成したポスターを友だち同士で見せ合い、「伝えたいことと写真が合っているか」という視点で交流しました。最後に、「新しく分かったこと」「これから大切にしたいこと」という視点で感想を書きました。児童は、説明文で学んだことを自分の表現活動と結び付けながら、筆者の考えをより深く理解することができました。

★読者の伝えたいこと
(伝えたいこと)に合わせることで、読み分けたり、組み合わせたりすることが必要
に対して、**①「説明文を読んで、新しく分かったこと」**
②「アップとルーズについてこれから大切にしたいこと」

アップとルーズを選んだり組み合わせ
て放送をしているのが大切で
す。切り替えながらしていて、工
夫をめちゃやしているなどと思いま
した。画像を載せたりするときは
このアップとルーズを思い出して
分かりやすくしたいと思いまし
た。またサッカーを見る時があっ
たらアップやルーズでとってるか
みてみたいと思いました。

★読者の伝えたいこと
(伝えたいこと)に合わせることで、読み分けたり、組み合わせたりすることが必要
に対して、**①「説明文を読んで、新しく分かったこと」**
②「アップとルーズについてこれから大切にしたいこと」

これからなかなかの写真を撮るときがあつた
らアップとルーズを使つてその時はち
やんと使い分けてその状況の時にこの勉強
をいかして写真を撮りたい。
将来何をするのわからないけど写真や動画
を撮る機会があつたらアップとルーズを使
い分けて写真を撮りたい。

★読者の伝えたいこと
(伝えたいこと)に合わせることで、読み分けたり、組み合わせたりすることが必要
に対して、**①「説明文を読んで、新しく分かったこと」**
②「アップとルーズについてこれから大切にしたいこと」

アップとルーズについてこれから大切にし
たいことは、これから記事を作つたりする
ことがあるかもしれない時に写真や動画
が、いるときに、アップとルーズを大切に
したいし、ふつと記事とかを作らない
時にもアップとルーズを使つていきたく
いです。
説明文を読んで新しく分かったことは、ア
ップとルーズは、生活の中でもアップとル
ーズは、てくるんだと知つたしテレビに
も出るんだと知りました。

★読者の伝えたいこと
(伝えたいこと)に合わせることで、読み分けたり、組み合わせたりすることが必要
に対して、**①「説明文を読んで、新しく分かったこと」**
②「アップとルーズについてこれから大切にしたいこと」

アップとルーズは人にわかりやすく伝える
ためにあるから、もつと人に伝わりやすいよ
うにあると知つたし、これからは写真や動
画でもアップとルーズを使つて組み合わ
せて受け手に届けるようにしたいです。説明
文は筆者が伝えたいことが書いてあるし初
めと終わりに筆者の考えが書いていて知
った。アップとルーズで便利なことや不
便なこともあるけどもアップとルーズを
使つていきたいです。伝えたいことに合
わせてアップとルーズを使い分けたり、組
み合わせたりするのが必要と知つた。生活
でアップとルーズはいつでも使えると思いま
した。

★読者の伝えたいこと
(伝えたいこと)に合わせることで、読み分けたり、組み合わせたりすることが必要
に対して、**①「説明文を読んで、新しく分かったこと」**
②「アップとルーズについてこれから大切にしたいこと」

広いはいいです。写す時はルーズである部分
大きく写すとり方をアップとわかつた。考
え・説明・考えとかわかつた。
最初は「くみあわせたりすることがたいせ
つです。」というところがわかつた。な
なななとべんきょうしていくうちに意味
がわかつたからそのことを覚えてこれら
写真や動画を撮るときはアップとルーズを
意識してとりたいた。

★読者の伝えたいこと
(伝えたいこと)に合わせることで、読み分けたり、組み合わせたりすることが必要
に対して、**①「説明文を読んで、新しく分かったこと」**
②「アップとルーズについてこれから大切にしたいこと」

これから写真や動画を
撮るときはアップとル
ーズを使つて写真とか
を撮りたいです。
写真や動画にアップと
ルーズを使うと細かい
ところまでわかると知
りました。

★読者の伝えたいこと
(伝えたいこと)に合わせることで、読み分けたり、組み合わせたりすることが必要
に対して、**①「説明文を読んで、新しく分かったこと」**
②「アップとルーズについてこれから大切にしたいこと」

これから写真や動画を
撮るときはアップとル
ーズを使つて写真とか
を撮りたいです。
写真や動画にアップと
ルーズを使うと細かい
ところまでわかると知
りました。

★読者の伝えたいこと
(伝えたいこと)に合わせることで、読み分けたり、組み合わせたりすることが必要
に対して、**①「説明文を読んで、新しく分かったこと」**
②「アップとルーズについてこれから大切にしたいこと」

これから写真や動画を撮るときには
アップとルーズを使つていきたいと思
つた。
・アップは細かい部分の事が分かつて、
ルーズは広い範囲の様子が分かつてい
いと思った。
・私がいいと思つた撮り方は動画のルーズ
で理由は広い範囲の様子が分かるし、
動画だとどんな感じに進んでいるか
分かるからです。